

第 80 期 決 算 公 告

2025年 6 月20日

愛知県半田市南末広町124番地12
名鉄知多タクシー株式会社
代表取締役社長 南 伸幸

貸借対照表

2025年 3 月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	130,502,289	流動負債	148,165,735
現金	848,022	未払金	17,141,867
預金	8,965,625	未払費用	71,505,031
売掛金	54,480,674	未払法人税等	482,500
未収金	1,214,639	未払消費税等	13,547,700
短期貸付金	59,386,394	預り金	14,629,937
貯蔵品	1,630,132	契約負債	1,173,700
前払費用	1,095,565	賞与引当金	29,685,000
その他流動資産	2,925,238		
貸倒引当金	△ 44,000		
固定資産	996,038,101	固定負債	201,651,748
有形固定資産	876,208,794	退職給付引当金	189,492,080
車両	39,155,524	預り保証金	3,052,830
建物	166,748,307	繰延税金負債	1,606,838
構築物	22,801,855	その他の固定負債	7,500,000
機械装置	3,878,810		
工具器具備品	4,962,292	負債合計	349,817,483
土地	638,662,006	純 資 産 の 部	
無形固定資産	2,563,920	株主資本	773,712,394
電話加入権	1,394,010	資本金	40,000,000
ソフトウェア	1,169,910	利益剰余金	733,712,394
投資その他資産	117,265,387	利益準備金	10,000,000
投資有価証券	107,071,527	その他の利益剰余金	723,712,394
出資金	1,465,000	任意積立金	700,000,000
その他投資	8,778,860	繰越利益剰余金	23,712,394
貸倒引当金	△ 50,000	評価・換算差額等	3,010,513
		その他有価証券評価差額金	3,010,513
資産合計	1,126,540,390	純資産合計	776,722,907
		負債及び純資産合計	1,126,540,390

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- | | |
|--|--|
| (1) 棚卸資産の評価方法及び評価基準
貯 蔵 品 | 最終仕入原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定) |
| (2) 有価証券の評価方法及び評価基準
子会社株式及び関連会社株式
その他有価証券
市場価格のない株式等以外のもの | 移動平均法による原価法

時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。) |
| 市場価格のない株式等 | 移動平均法による原価法 |
| (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産
建 物
車 両
その他の有形固定資産
無形固定資産 | 定 額 法
定 額 法
定 率 法
定 額 法 |

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

平成10年4月1日以降に取得した建物、また、平成28年4月1日以降に取得した構築物については、定額法を採用しております。
なお、取得価格10万円以上20万円未満のものについては、3年間均等償却しております。

- (4) 引当金の計上基準
- イ. 貸倒引当金
売上債権・貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
 - ロ. 賞与引当金
従業員の賞与の支払に備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。
 - ハ. 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

- (5) 会計上の見積りの変更
既存資産の経済的使用可能予測期間の再見積りによるタクシー車両の耐用年数変更
グループ全体の統一的な設備投資方針の策定に伴い、保有する有形固定資産のうちタクシー車両について、近年の使用実績の変化や物理的・機能的要因を多方面に検討した結果、従来の耐用年数と経済的使用可能予測期間に乖離が生じることから、当事業年度期首よりタクシー車両の耐用年数を従来の6年から8年に変更し将来にわたり適用しております。
この結果、従来の耐用年数によった場合と比べ、当事業年度の営業損失及び経常損失並びに当期純損失は、それぞれ2,542千円減少しております。

- (6) 会社計算規則第98条第2項第1号に基づき、会計監査人設置会社で必要とされる注記事項の一部を省略しております。

2. 当期純損益金額

当期純損失	169,298,378 円
-------	---------------